

若々しい

足利新総長

日布

初対面の印象

新総長を迎へて……

朗かな本願寺別院

OCT 5 1933

上陸した足利新総長は本願寺本堂に参集した信徒へ一場の就任挨拶をして監督邸に入つた、今村前総長逝いて十ヶ月、主の無かつた本願寺に新総長を迎へた、青芝のヤードに朝日がキラキラと照つて何んだか急に明るい感じだ、本願寺の内外

が朝からさんざめいて監督さんが居つた時のやうな朗かな日が続つた

○本願寺の元の総理大臣だから格式は高い、監督邸のパララーに着席したばかりの所へ訪ねて行つたので逢つて呉れるかどうか氣に掛け

らながノコノ、参上すると氣輕に逢つて下さつた、新総長は船疲れも見せず頗る大元氣だ、六十三歳だから老人かと思つたらナカノ、どうして、五十臺にしか見えぬ若々しさだ——

以下新総長の話

私は今から二十八年前にハワイに來ました、一ヶ月位しか居なかつたやうな氣がするが今宮川君の話では三ヶ月も居つたものだ、昨夜カワイ島の沖を通つた時に今昔の感に堪えなかつた、砂糖船の小船に乗つて上陸したことなどを思ひ出した

○今先き本堂で信徒諸君にお

話しましたが私は今度今村君の後任として参りました、いいところへ私は來たと思つて居ります、京都をたつ時に法主にお別れに行きました、私が私は今村君のところへ行きます、今村君の後を繼いで今村君の眞似をして働いて來ますと言上した

○今村君は多年の努力でハワイの教團を内に外に發展させた其の功績を私は非常に敬服してゐます、同君の遺業を恥しめぬやうに出來たら私の喜びとするところと思ひます

○而し今村君の功績は一人で出來たものではない、多數

の信徒の援助もあつて出來たものである、私が此れから今村君の後を承けて働くに就いては信徒諸君が今村君に捧げた援助の幾倍を私にも捧げて下さらんことを願ひしたのである

○布哇本願寺の此れからの施政方針は事情に暗い私が今茲に述べられぬ、信徒諸君一般及び君等諸君の御指導に依つて進んで行きたいと思つてゐます云々

歡迎會日曜

足利新総長の歡迎會は教團及び本願寺各団体主催の下に來るサンデー午後の定例説教後に階下ホールで開催することに決定した

日布時事

米國郵政院認可

新(前)聞代
 一(半)ケケケ
 一月年ケケ
 金金金
 五五五
 仙弗仙弗

毎日夕刊(日曜休刊)
 米領布哇ホノルル市
 又ア又街九三〇一九二八
日布時事社
 電話六〇九一番
 社内私設交換局に
 依り各部に連絡す
 午後五時以後及日曜祭日は
 事務局 六〇九一
 新聞發送部 六〇九二
 編輯局 六〇九三
 郵局 一二三〇
 社長主筆 相賀安太郎

社説

漁業繼承者の問題

漁業は第一世日本人が築き上げた折角の獨占事業だから、第二世は是非これを繼承しなければならぬと云ふ論理が、第二世の間に同感されるかどうかは疑問だ。漁業に這入つても果し

教育局當局も、農業方面の人物養成に眞剣である如く、海の人物養成にも特別の努力を傾けて呉れるやうに切望に堪へぬ。

漁業を單に日本人の問題と思つては大間違ひである。それはハワイ縣そのものの食糧問題ではないか。四面に海を控へてゐる此の地で、將來若し生魚さへ米大陸から輸入を仰ぐ時代を見るとせば、それは布哇縣の恥辱であり、縣當局の責任であると思ふのである。

イルズ嬢機
 天候不良で
 引き返す
 【パリ四日聯合】三日パリ郊外のルブルゼ飛行場を出発再度訪日飛行の途についた佛國女流飛行家イルズ嬢は途中天候不良のため飛行が繼續出來ずウイーンからパリに引返した、天候回復を待つて再び出發し直す筈

民間協議會も開始

愈よ本舞臺へ

ムシ